

夢咲かせよう 立志の丘で

平成26年10月10日
No.22

前期終了

10月10日(金)に前期が終了しました。終業式では、3人の代表の生徒から発表がありました。

「前期を振り返って」

1年B組 加藤みなみ

中学校生活のスタートでもあった前期は、あっという間に過ぎ、振り返るととても充実していました。

勉強面では、小学校よりレベルアップした内容についていけるか心配でしたが、一人勉強の内容やテスト勉強を自分なりに工夫しました。そのおかげで期末テストでは、よい点をとることができました。

部活動でも、未経験のテニスに挑戦して、最初は不安でした。それでも、先生や先輩に教えてもらったり1年生の仲間と高め合ったりしながら上達できたと思います。12月の1年生全県大会までに力を付けていきたいです。

勉強・部活動以外でも、5月に郡陸上、夏休みに駅伝に取り組みました。郡陸上では、1500m 走に出場しました。毎日の放課後練習はきつく嫌になることもあったけれども、本番ではその結果を出すことができました。レース中に先輩や友達の応援の声が聞こえてとても力になりました。駅伝では、さらにきつい練習が毎日続き、本当に嫌になりました。でも、つらい思いをしているのは自分だけではないし、何よりも練習後の達成感は気持ちよかったです。がんばれました。本番では2区を走り、駅伝は夏休み最高の思い出になりました。この二つの活動を通し、今までの自分より成長できました。

前期は全てが初めてで、新鮮な気持ちで過ごせました。後期もさらに成長できるように前向きな気持ちで努力したいと思います。



「前期を振り返って」

2年B組 佐藤 萌

前期、主に頑張ったことは三つあります。

まず一つ目は勉強です。1年生のときより毎日の一人勉強のやり方を工夫してやってみました。他にも、重要なところをしっかりとおさえて、ワークを使って何度も解くことができました。授業では、積極的に挙手したり、先生の問いかけにも反応したりすることを心がけました。その結果、勉強した内容が頭に入って分かるようになりました。

二つ目は部活動です。夏休みに駅伝の練習を頑張りました。今までは何かつらいことがあると、途中で投げ出してしまっていました。でも、駅伝をやってみて、私はみんなよりは走るのが得意ではないけれど、最後までやり遂げる大切さや、あきらめないでやる気持ちを強くすることができました。



バレーボールでは、練習試合や大会を通してチーム、そして自分の課題がたくさん見付かりました。自分に任せられた役割をまだ完全には果たすことができていません。だ

から、今の自分を変えるために、毎日の練習を大切に、よいイメージをもちながら練習していくことと、自主練習を必ずやることを心がけていこうと思いました。

三つ目は、学校・学級のための仕事です。2年生になって私は副委員長になりました。先生からの指示をクラスみんなに間違いなく伝えたり、広い視野で周りを見たりすることを頑張りました。立志祭の部門別活動では、とても仕事が多く大変でしたが、同じ部門のみんなや先生たちと協力して終わることができました。

後期は、私たち2年生が3年生からのバトンを引き継ぎ、リーダーとしての力をたくわえていくときです。前期には様々な経験を通して成長することができました。その経験を生かして、この学校にふさわしいリーダーになれるように、いろいろなことに挑戦し、さらに自分を磨いていきたいです。

「前期の振り返りと後期に向けて」

3年B組 朝田 麟太郎

スポーツにかけた前期でした。7月25日・26日に出場した全県少年野球大会、9月21日の全県駅伝大会と。

全県野球大会では、3年連続の全県出場というプレッシャーの中、目の前の試合にチーム全員で向かうことができたと思います。野球が上手くなるために、自分たちの生活から見直し、応援される選手を目指しました。人として基本の挨拶を徹底すると決めましたが、最初はなかなかうまくいかず、全員が徹底するということができません。挨拶についてミーティングすることが多くありました。その結果、少しずつよくなっていったと思います。そして全県大会が始まるころには、自分たちをたくさんの生徒のみなさんや先生方、地域のみなさんが応援してくれていることを実感し、自分たちの目指した選手に近づけたと思いました。残念ながら全県大会では負けてしまいましたが、みなさんの応援のおかげでよいプレーができたと思います。本当に応援ありがとうございました。

全県駅伝では、この夏一緒に走ってきた仲間との絆が深く感じられました。大会本番は全員が自分の限界にチャレンジし、記録を出すことを目標に走り12位という結果でした。この結果を収めることができたのは、つらい時も気分が乗らない時も共に走り、声をかけてくれた仲間や、とても大きい声でタイムを読み、記録してくれて自分たちの背中を押してくださった先生たちのおかげです。始めたときは、まだ絆や信頼感などがあまり感じられず、つらく苦しいとしか思わなかった駅伝が、練習を重ねることにみんなが一つの目標に向けて走り始めたと感じました。それからみんなが苦しい時は声をかけ合うようになり、つらい練習も楽しく感じられました。この駅伝を通して、野球では感じることでできない苦しさや楽しさを経験することができました。

この野球と駅伝で得た経験や心のもち方をこれからの厳しい受験勉強にいかせたらよいと思います。



次に、校長の式辞を掲載します。

校長 佐藤 心一

4月4日に始業式、そして4月7日に入学式を行い始まった平成26年度前期も本日をもって終了となります。

学年代表の方から前期の反省についてお話では、自分の今年度の目標に対してどこまで到達したか、そして少しの反省、後期への希望が述べられました。

4月に立てられた目標、その目標について、皆さんの到達度はどれくらいだったのでしょうか？ちょっとだけ前期を振り返ってみたいと思います。

私が一番驚いたのは、大曲仙北中学校春季大会でのバスケットボール部の優勝とソフトテニス部の優勝です。どちらのチームも、新人戦の敗退から冬の間の練習をどのように行ってきたか、その行ってきたことが間違いでなかったことを示してくれました。私は、なぜソフトテニス部が優勝したのか、部会のある先生のお話を聞きました。その先生はソフトテニスで全県制覇をしたことがある先生ですが、一言お話をされました。「西仙北中学校の大会に対する思い、優勝したい、という思いがどこの中学校よりも強かった。」でした。この言葉は深く、私たちは思ってもなかなか実行に移すことができません。それを形に、自分たちの創意工夫、そしてチームとして持ち続けたことが、爆発につながったと思います。

バスケットボール部は、新人戦で本当にまさかの敗退でしたが、ここも悔しさをバネにまとめることができた結果だったと思います。

その次に行われた郡市陸上競技大会では、女子が5位と大健闘してくれました。その後の全県大会でも、女子の活躍はバレーボール部を中心に力を示してくれました。

この後、夏の総体では、野球部が第3地区で死闘の末の準優勝。このとき、応援団・吹奏楽部、そして文化部の応援のすばらしさは、戦った野球部と同じくらいすばらしかったと聞いております。他の部も、昨年度よりもより多くの部活動が県大会出場を決めました。そして、それぞれの力を十分に出し切ってくれたと思います。特に、3年連続の全県少年野球大会では、2回も能代球場で全校応援をすることができました。野球部の皆さんに感謝したいと思います。

文化部も華々しかったです。吹奏楽部は県南吹奏楽コンクールで金賞、そして県大会でも3年続けての金賞です。何度もお話しましたが、中学校から吹奏楽に出会って、小学校から吹奏楽をやってきた人たちと一緒にコンクールに出て金賞をとる、というのはどれほど普段の練習が力になっているのか、計り知れないところです。

さらに、パソコン&クリエイティブ部は、学校環境に大きく貢献し、統計コンクールでも入選、努力賞を受賞しました。科学部は普段の応援活動はもちろん、理科研究発表会では昨年に続き継続研究で「最優秀賞」を受賞しました。

各部の活動が一段落したところで始まった駅伝練習では、その場面場面で西仙北中らしさ~力を出し切る、そしてチームで走る~が見られました。特に、県大会の男子は、一人一人がまさに自己ベストを出し、西仙北中の名を全県下に知らしめてくれました。

学習面でも、皆さんの授業風景を毎日見ていると、お互いが聴きあえる関係になってきつつあると思います。「分からないから教えて」という姿勢、これこそが大事です。

そしてこの一人一人のつながりが、学級の輪、団結力につながってきています。それは、いろいろな場面で見られました。応援されたらお礼を言う、大会で頑張ろうという人たちへ、全校で応援する、そして学級で応援する、常に、人を励まして、支えていこうという気運が西仙北中学校に出ています。

今年も文部科学省・国立教育政策所指定の教育課程という研究指定校を美術の教科で受けています。昨年同様、県外から訪れる訪問者が多いです。その人たちがいつも帰りに言っています。「どうして、こんなに学級の雰囲気がいいのでしょうか？」「どうして先生と子どもたちの関係がいいのでしょうか？」「同じ授業をずっと見ていたくなります。」と。それは、皆さんが学校教育目標である「学び合い 支え合い 高め合い」を意識して日々暮らしているからだと思っています。

前期の振り返りは、まだまだ話しきれないことが多数あります。一大行事である立志祭。生徒会執行部、各部門長が先頭に立ち、見事に小学生に中学校生活での夢を与えてくれました。駅伝・マラソン大会でも順位よりもそれに向かった学級全員の姿勢が発揮され、きっと学級のまとまりが更に一回と深くなったと思います。あなたたち一人一人が西仙北中学校の主役であり、宝であるということを見せていただいた前期、皆さんとそれを支えた先生方、地域の方々へ感謝し、式辞といたします。

2014立志祭 西仙world ~はじまる伝説 from our stage~

立志祭では、たくさんの皆さんにお越しいただきましてありがとうございました。生徒たちの心に残るすばらしい1日となりました。



西中から引き継がれている「Nishisen ソーラン」がオープニングを飾り、東中から引き継がれている「大いなる秋田」がエンディングを締める。



駅伝・マラソン & なべっこ会

前期最後にふさわしい、見事に晴れ上がった天気の中で、標記行事を行いました。それぞれの結果をお知らせします。

◎ 男女マラソン(入賞者各学年3位まで)

<男子>	<3年>	<2年>	<1年>
1位	佐藤麻美さん	野中斗亜さん	進藤湧太さん
2位	藤林奏羽さん	瓜生 拓さん	堀江駿太さん
3位	佐藤佳祐さん	佐藤汰一さん	小松彩世さん
<女子>	<3年>	<2年>	<1年>
1位	佐々木玲奈さん	田村美伊さん	大上萌花さん
2位	小笠原未久さん	京極優香さん	田口咲葵さん
3位	杉本 楓さん	正木夏帆さん	佐々木愛文さん

◎ 駅伝大会 10区間 7チーム対抗

1位-2A	2位-2B	3位-3A	4位-1B
5位-3B	6位-3C	7位-1A	

~~~~~ <区間賞(各区1位のみ)> ~~~~~

|                |               |
|----------------|---------------|
| 1区-朝田麟太郎さん(3B) | 6区-佐藤愛美さん(1B) |
| 2区-高橋奏子さん(2B)  | 7区-本間紗斗さん(3A) |
| 3区-佐々木航平さん(3C) | 8区-佐藤 魁さん(3C) |
| 4区-斎藤菜摘さん(2A)  | 9区-加藤みなみ(1B)  |
| 5区-佐藤竜也さん(3B)  | 10区-鈴木秀人(3B)  |

## ひまわり撤去

毎日、私たちを見守ってくれているひまわりを、昨日撤去しました。来年の春まで冬眠に入ります。

お休みなさい…。

